

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県・犬山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	犬山市文化遺産総合活用活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>犬山市全市博物館構想（平成14年策定）や歴史的風致維持向上計画（平成21年策定）を踏まえ、犬山市に固有の文化遺産を活用した地域活性化や地元根付く伝統文化の継承・発展を図るため以下の事業を実施する。 また、計画期間中、以下の事業を通じて、行政とNPO法人を始めとする民間団体、文化財保護団体及び地域住民による文化財保存・活用のための連携・協力体制の確立を目指す。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 主な担当課：役割 教育委員会 歴史まちづくり課：文化財の取扱等に関する指導等 また、事業は次の団体が実施する。 犬山市文化遺産活用実行委員会（委員長：吉野正根） 構成団体（犬山市教育委員会、犬山伝統音楽研究会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 39,543 千円	平成29年度申請額： 8,832 千円
(2) 実施事業の概要		2	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>文化遺産に対する取組みを市内全域に広げ、各地域住民の文化遺産に対する関心や意識を向上し、市民主導、愛好家主導による文化遺産の保存や伝承、活性化につなげることが可能である。また、行政やNPO、市民団体、文化財保護団体とが連携・協力体制を構築することで、各地域だけでなく市全域に取組みを広げることが可能である。また、多くの観光客が訪れる犬山の魅力拡大に繋がり、観光客増加を見込むことができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	特に無し		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
犬山市歴史的風致維持向上計画 平成21年3月11日策定済み			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	犬山市教育委員会 歴史まちづくり課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	市内文化財関連施設の入館者数			関連事業 :	①③	
目標値 1 :	平成 28 年度 800,000 人 ⇒ 平成 33 年度 840,000 人					
設定根拠 1 :	平成28年度の市所管文化財関連施設への入館者数の伸び率約1.05倍を参考とする。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	犬山祭の新たな担い手数			関連事業 :	②④	
目標値 2 :	平成 28 年度 0 人 ⇒ 平成 33 年度 30 人					
設定根拠 2 :	事業実施に伴い、年間5～10名程度担い手を増加することを想定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	地域主体の文化遺産普及啓発事業			関連事業 :	①②③④	
目標値 3 :	平成 28 年度 10 件 ⇒ 平成 33 年度 20 件					
設定根拠 3 :	地域主体の文化遺産普及啓発事業 (イベント等) の実施件数					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	各文化遺産に隣接する最寄駅 (市内全ての駅) の乗降車数			関連事業 :	①③	
目標値 4 :	平成 28 年度 9,000,000 (単位) ⇒ 平成 33 年度 9,500,000 (単位)					
設定根拠 4 :	近年の来犬者増加率を加味し、5%乗降車数が増加すると積算。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

事業④：	祭囃子活性化事業（講習会）		実施団体：	犬山伝統音楽研究会		
事業区分：	後継者養成		事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	「犬山祭の車山行事」は十三輦の車山と三つの練り物で構成され、車山の運行に併せて太鼓や横笛による祭囃子が演奏される。囃子で使われる「能管」に着目し、祭囃子の伝承と活性化を図るため、能管の仕組みや歴史、奏法の基礎を学習する講習会を実施する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	事業実施による祭りの新た担い手数					
目標値：	平成 28 年度		0 人	⇒	平成 33 年度 30 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	